

南小6年生 自然薯栽培の報告が 自作視聴覚教材 コンクールで佳作

南小6年生児童が自然薯栽培を通しての学習内容をまとめた「自然薯栽培の報告」が、山形県自作視聴覚教材コンクール児童生徒作品部門で佳作に選ばれました。同校では特産品である自然薯の栽培を通して植物の生長過程を学んでもらおうと、大石田町新作物開発研究会（海藤明会長）の協力のもと自然薯栽培に取り組んでいます。今年度は地域学校協働本部のサンサンスタディーとして、大小と北小の6年生も加わり栽培を行いました。



報告を取りまとめた遠藤紗雪さんは「栽培を通して、自然薯にむかひができることや、花が咲くことを知ることができました。みんなの協力で取りまとめることができました。」と話していました。大変おめでとうございます。

▼研究内容の一部



大 中 1 年 生 大石田かるた研究内容が 自作視聴覚教材 コンクールで最優秀賞

大中1年生が大石田かるたで読まれている町内の文化遺跡や特産物について独自に取材・研究した内容をまとめた「大石田かるたからの新発見」が、山形県自作視聴覚教材コンクール児童生徒作品部門で最優秀賞に選ばれました。生徒たちは、ふるさとを今や昔を知るため大石田かるたに読まれる町内の文化遺跡や特

産品などについて、地元の方の協力をいただきながら現地取材や研究を行い、昨年12月12日(日)には町青少年健全育成町民会議で研究内容を発表していました。

大変おめでとうございます。



安達卓子大中教諭が 優秀教職員大臣表彰を受ける

この度、安達卓子さん(愛宕町)が文部科学大臣優秀教職員表彰を受けました。これは、安達さんの長年にわたる生徒に寄り添った学校教育活動の功績が認められたものです。

安達さんは現在大中の教員として教鞭を執っており、表彰に際して「ありがとうございます。これからも教育活動に尽力します。」と話していました。

大変おめでとうございます。



大石田かるたが自作視聴覚教材 コンクールで最優秀賞

「大石田かるた」が山形県自作視聴覚教材コンクール学校教育部門で最優秀賞に選ばれました。大石田かるたは、昨年12月に行われた北村山地区自作視聴覚教材コンクール学校教育部門で特選に選ばれており、今回で2つめの受賞となります。

町では今後さらにかるたの利活用を推進してまいります。



大石田ライオンズクラブと 災害協定を締結

この度、大石田町社会福祉協議会と大石田ライオンズクラブ(遠藤史夫会長)が災害協定を締結しました。大石田ライオンズクラブは令和2年7月豪雨の際にも、水などの物資の提供や炊き出し、災害ごみの撤出・運搬・処分など積極的な支援を行っています。

今後災害が発生した際は協定に基づき、災害ボランティア活動に必要な資材等の提供や会員がもつ専門性等を活かした物的・人的支援などの協力をいただけることとなります。

大変ありがとうございます。



最上川桜回廊をうたう

富樫榮太郎さんの短歌が「歌壇」に掲載される

富樫榮太郎さん(本町)が最上川桜回廊をテーマに詠んだ短歌が、「歌壇」に掲載されました。

「歌壇」とは本阿弥秀雄氏が創業した本阿弥書店が発行する総合短歌雑誌で、同誌が公募する歌壇賞はプロの専門歌人を発掘する登竜門として設けられています。

掲載された短歌は以下のとおりです。

平成年間、山形新聞・山形放送の提唱で県内各地に「桜回廊」なる植樹がなされた

コロナ禍も三たび目の春

この年も最上川辺を日々に廻らむ(大石田)